

## 「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	好日苑		施設番号	K 184
項目	前年度の評価結果に基づく現状分析	改善計画 (平成28年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成29年4月30日時点)	
認知症介護について	認知症介護を重点目標としていることが評価されたが、メンバーを副主任からフロアリーダー(ユニットリーダー)にバトンタッチし、隔月開催を毎月に変更し、より現場に即した取り組みを目指し、上半期は勉強会を中心に、下半期にかけては、「N-1グランプリ」(認知症研究発表会)の取り組みに力を入れました。各階対抗戦にすることで、認知症ケアに必要なチームワークの向上を目的としました。	N-1グランプリ(認知症研究発表会)の目的を「好日苑における認知症ケア(利用者ケア)の向上」とし、フロアが一つのチームとなることにも期待して、2/24と3/3に実施。 職員27名が審査員となり、評価項目「チームワーク」「NTCW力」「発表力」で評価しました。各階(チーム)が真剣に認知症介護研究発表又は事例発表に取り組んだことで、認知症介護の質の向上を図ることができました。	① 実施済み  2 実施予定(平成 年 月ごろ)  具体的には以下のとおりです。	
入院日数の削減について	入居者の重度化が進行し平均要介護度が4.3となっている。入院者も要介護4と5の入居者が全体の81%を占めており、通院等様々な対応をしているが、入院日数は増加したため、更なる家族連携を含めた対応を検討したい。	平成29年度は、【不断の予防ケア】を重点目標として、第2の自宅での生活を支えるため、自由にのびのびとあたり前の暮らしができるように、生活管理をしないこと。そのためには、入居者個々の趣味や生活習慣をアセスメントし、一人一人の老化や障害等に合わせて工夫する『考える介護』が出来る事で、生活行為を引き出し、ストレスフリーを実現することが重要と考えています。 その結果として、入院リスクの軽減につなげることを目標とします。	1 実施済み  ② 実施予定(平成30年3月ごろ)  具体的には以下のとおりです。	

※この様式は、「平成28年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。